



## 第 34 回

日本臨床リウマチ学会が

11月30日(土)～12月1日(日)

名古屋国際会議場にて開催されます。

当院からは

リウマチ科部長

福居 顕宏 先生が

学術発表されますので、ご紹介します。



第34回

# 日本臨床リウマチ学会

The 34th Annual Meeting of the Japanese Society for Clinical Rheumatology and Related Research

日日是好日

—積み上げてたどり着く—

演題募集期間

5/21<sup>①</sup>~7/31<sup>②</sup>正午

会場

2019.11/30<sup>③</sup>・12/1<sup>④</sup>

会場

名古屋国際会議場 〒466-0036  
名古屋市中区栄島田町1-1

会長

石黒 直樹

名古屋大学大学院  
医学部研究科総合医学専攻  
腫瘍-形態外科学講座腫瘍形外科学

演題名:

RAにおける手関節痛に対するステロイドの注入効果. 統計学的検討

抄録本文:

【目的】手関節痛を訴えるRA症例にトリアムシノロンアセトニドを関節内に注入し除痛効果を検討した。検討項目は、1. grade別の注入回数、2. VASの変化。3. X-PでCHS、RCDR、RRAの変化、4. トリアムシノロンアセトニド注入による副作用の有無、である。【方法】118例181手：grade I: 49手、grade II: 46手、grade III: 50手、grade VI: 36手に注入。【結果】1. 注入回数：Grade I: Bio使用群/Bio非使用群：3/4回、Grade II: Bio使用群/Bio非使用群：4.7/4.3回で有意差は無。Grade III: Bio使用群/Bio非使用群：2.5/4回で有意差を認めた。Grade IV: Bio使用群/Bio非使用群：4.6/3回で有意差を認めた。2. VAS：全例において改善した。3. Grade IIIとIVの合計は104手で、a. トリアムシロノンアセトニド注入とBio非使用群の注入前/後でCHS、RCDRの有意差は無、RRAは有意差有り。b. トリアムシロノンアセトニド注入無とBio非使用群とc. トリアムシロノンアセトニド注入無とBio使用例でCHS、RCDR、RRAでは共有意差は無。【結論】平均注入回数は5回以内、生物製剤投与の有無による注入回数は変わりなくトリアムシノロンアセトニドによる副作用は見られなかった。